青少年委員だより

一緒に地域をつくり盛り上げていこう　第172号



第49回江戸川区民まつり



地域の方々と共に

江戸川区立中学校長会
会長　折橋　信二
（小松川中学校）

日頃より、青少年委員の方々をはじめ、地域の皆様には本区中学校の教育活動に深い理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

中学生にとって、地域の大人の方々と触れ合い、一緒に活動したり、地域の行事を支えたりする経験は学校の授業だけでは得られない大切な学びです。特に、地域の中で「お兄さん、お姉さん」として小さな子どもたちと関わる経験は、責任感や思いやり、地域の一員としての自覚を育む貴重な機会となっています。思春期を迎える中学生は、家庭や学校だけでなく、地域の様々な人との関わりの中で社会性を身に付け、自分の将来を考えていきます。だからこそ地域の皆様からいただく温かい声かけや見守り、そして「一緒に地域をつくり盛り上げていこう」という姿勢が、子どもたちの成長を力強く後押ししてくれるのだと考えます。これからも学校・家庭・地域が手を携え、江戸川区の子どもたちを地域全体で育てていくことが重要です。各中学校が青少年委員の皆様をはじめとする地域の方々とのつながりを大切にし、生徒たちが地域に愛着と誇りをもち、将来、地域社会を支える存在へと成長できるよう教育活動に邁進することをお誓いしてペンを置きます。

7月定例会研修　更生保護映像の視聴と討議



令和8年7月19日（金）の定例会研修では「今時の中学生の行動様式を知る」をテーマに、更生保護映像『今のあなたができること』の視聴・討議と保護司活動の紹介を行いました。

映像は中学生を主人公にSNSトラブルや闇バイトへの加担など、身近に潜む危険を描いていました。視聴後の討議では、「困っている人をひとりにしない社会のあり方」や「保護司の役割」について委員同士で意見を交わしました。さらに、青少年委員と保護司を兼務されている高橋委員（葛西南地区部会）と大橋委員（東部地区部会）から保護司活動のご紹介をいただき、活動の一端に触れる機会となりました。

文責
小松川地区部会
近藤　幹郎

9月定例会研修　避難所運営ゲーム「HUG」体験



令和8年9月18日（金）の定例会研修では、「HUG」（避難所運営ゲーム）を体験しました。青少年委員が現場の災害時において適切に対応し、避難所運営の能力を発揮できることを目的としています。

避難所運営で起こるさまざまな事象に対応していく中で、問題点や、事前に準備・克服しておくべき課題について、具体的に体験することができました。

各地区委員会においても「HUG」を体験する機会を設けることで、地域の防災意識がさらに高まり、いざという時の避難所運営に生かされると感じました。

文責
中央地区部会
松本　聖季香

あとがき

今号も、青少年委員の活動の様子をお届けしました。

子どもたちの笑顔や、地域の皆様との交流を通して、私たちもたくさんの元気をもらっています。

これからも地域とのつながりを大切に、楽しく活動していきます。

広報部一同



江戸川区青少年委員
ホームページ

こちらの二次元コードを読み込んでいただくか、「江戸川区青少年委員」で検索してください。

江戸川区青少年委員　検索

青少年委員だより
発行　江戸川区青少年委員会
編集　広報部
連絡　江戸川区文化共育部健全育成課青少年係
☎03(5662)1629

地区委員会紹介

江戸川区の青少年委員は、全員が17ある地区委員会のいずれかに所属しています。
今号から、各地区委員会の委員長による地区委員会紹介をお届けします。

松江南地区委員会



青少年育成松江南地区委員会
平田　光男　委員長

松江南地区委員会は、松江、東小松川、西一之江、大杉東の各小学校、松江第一、第四、第六の各中学校、都立白鷺特別支援学校に関わる町会、子ども会、学校、PTA、青少年委員、スポーツ推進委員の方々が運営しています。私たちは「子どもを主にし、青少年の目線で活動する」をモットーに、学校プレイパーク、ふるさとウォッチング、凧揚げ等の行事を実施。これらには歴代青少年委員の発案によるものが多々あり、今後も青少年委員活動との連携を強め、子どもを元気にする取り組みを進化させたいと考えております。

小松川平井地区委員会



青少年育成小松川平井地区委員会
阿部　雄一　委員長

年明け早々の1月にマラソン大会を参加者677名で行いました。地区内の中学生がボランティアとして運営に協力していることが特徴的です。同じく1月に、85名の参加者を迎え凧揚げ大会を行いました。

凧作りから始まり、荒川河川敷で凧を上げて楽しみました。3月末には「小学校卒業記念ナイトウォーク」を参加者242名、運営者15名で行い、ほとんどの人が完歩しました。11月には「学校に泊まろう」改め、「学校で遊ぼう」を地区委員全体で企画中です。

西小松川地区委員会



青少年育成西小松川地区委員会
関　清孝　委員長

西小松川地区委員会は、子どもたちが笑顔あふれるイベントの企画に取り組んでいます。

年間行事として定着している探検隊、たまご落とし大会、ハイキング、ソフトバレーボール大会の各イベントでは、実行委員会を立ち上げ多くの地区委員が携わり、子どもたちが怪我なく楽しく笑顔あふれるイベントとするために綿密な打ち合わせを繰り返しています。

これからも、地区内の関係団体などと連携を図りながら、多くの子どもたちが参加できる楽しいイベントの運営に努めていきたいと思っています。

松江北地区委員会



青少年育成松江北地区委員会
佐藤　邦明　委員長

松江北地区委員会は、区役所本庁舎、総合文化センターや中央図書館等を中心に、5町会、1自治会で構成されています。毎月開催している運営委員会では、委員会活動の運営決定だけでなく、各町会自治会間の情報共有も活発に行われています。地域一体となって、主要行事である学校プレイパークや、月2回開催のバトミントン教室、講演会や日帰り研修等で青少年健全育成活動に取り組んでいます。様々な課題が増えてきていますが、これからも知恵を出し合い、無事故・大成功の運営を行って参ります。

今号は4つの地区委員会をご紹介しました。次号以降も各地区委員会の魅力を順次お届けしていきます。

東京都薬物乱用防止指導員として







令和7・8年度は、小岩地区部会の皆川委員と、鹿骨地区部会の笠井が努めています。様々な研修を受けた中で、記憶に残る研修を紹介します。小平市にある「東京都薬用植物園」では、危険ドラッグや健康食品の指導・取り締まりに向けた試験検査研究を行うほか、薬用植物の正しい知識の普及に努めています。研修会が行われた4月末には、ちょうど「けしの花」が咲いており、主任研究員の中村耕先生より「けしの花」について詳しく聞くことができました。

「けしの花」はポピーの花に似ていますが、全体はほとんど無毛で葉の縁はギザギザしています。未熟のさく果に傷をつけると乳白色の汁が出て、独特の匂いがします。栽培が禁止されている植物は抜かずに通報することになっています。若者たちを含めて危険なドラッグに関わらないよう、薬物乱用防止に今後も務めていきたいと思います。

文責
鹿骨地区部会
笠井　雅世

第44回江戸川区民ラジオ体操大会





令和8年7月25日(土)にオーエンススタジアム江戸川(江戸川区球場)で開催されました。江戸川区では、区民の健康増進ならびに青少年の健全育成を目的としてラジオ体操大会を開催しており、青少年委員としても開催をサポートしています。

前日は雨模様でしたが、当日は曇りながらも暑すぎず、ラジオ体操にはまずまずのコンディションとなりました。来場人数は約1500人でした。青少年委員は14人が参加し、手厚いサポートができました。スタッフも参加者である地域の知人や友人、親戚とお互いの近況を伝え合うなど、交流を深める時間となりました。

このような地域に根ざした活動は、本来の健康増進・健全育成の枠を超えて、人と人との関わりを強くし、地域の発展へとつながると感じました。今後も50回、60回と続いていくようサポートしていきます。

文責
葛西南地区部会
安次富　宏行

まつり

第四葛西小学校すくすくスクール工作教室

令和8年6月15日(月)に第四葛西小学校のすくすくスクールにて工作教室を行いました。初めての開催でしたが、すくすくスクールのスタッフや保護者の協力もあり、2グループに分けて、時間を置いて2回実施しました。

工作は「くるくるエイト」と「折り紙ふきゴマ」の2種類を行いました。「くるくるエイト」は食器シートを帯状にし、8の字状にして高い所から静かに放すとくるくると回転しながらふんわりと床へと飛んでいくもので、作るのは簡単ですが楽しく遊べます。「折り紙吹きゴマ」は2枚の折り紙を組み合わせ、息を吹きかけて回す工作です。折り方が少し難しいのですが、丁寧に教えたことで全員が吹いて遊ぶことができました。

児童たちは普段と違い外部から人が来て行うことで、目を輝かせながら楽しんでいました。最後には感謝のお手紙をもらうなど、私たちも楽しい時間を過ごしました。





文責
葛西南地区部会
安次富　宏行

松江小学校ＰＴＡふるさとまつり

令和8年7月11日（土）、松江小学校にてＰＴＡふるさとまつりが盛大に開催されました。当日はＰＴＡ、すくすくスクール、東松仲よしクラブ、若葉子ども会、東二杉の子親子会など多くの団体が参加し、多数の模擬店が出店されました。青少年委員会中央地区部会では無料クラフトコーナーとして「折り紙紙トンボ」と「ハッカオイルジェル」を出店しました。

当日６００人を超える児童が参加し、「ハッカオイルジェル」は１７８個、「折り紙紙トンボ」は57個プレゼントすることができました。晴天にも恵まれ、多くの笑顔が集うイベントとなりました。





文責
中央地区部会
三浦　圭司

地域

第44回清新町・臨海町ふれあいまつり

令和8年5月10日(日)に青森大学東京キャンパスおよび清新町緑道で開催されたふれあいまつりに参加してきました。このおまつりは「ひろげよう、ふれあいの輪」をテーマに、地域の学校や団体、サークルがステージで演技を披露したり、模擬店を開くなど、地域の交流を図る場となっています。葛西南地区部会では、今回初めて模擬店参加を行いました。

出し物は「工作コーナー」で、くるくるレインボー３５０セットを用意してスタートしました。初めての参加だったため、様子が分からず、参加人数が読めない状況でしたが、思いの外参加者が多く、工作を楽しんでいました。

地域の特徴として外国の子どもが多く、最初は言葉が通じず戸惑っていましたが、お母さんと子どものやり取りから簡単な英語を学び、コミュニケーションが取れるようになり楽しい体験ができました。次回も参加して、子どもたちに楽しんでもらう時間を提供したいと思います。



文責
葛西南地区部会
安次富　宏行

鹿骨区民館まつり

令和8年5月17日(日)に開催された「鹿骨区民館まつり」では、「手づくり広場部会実行委員」としてフラワーホールを担当しました。区民館まつりは、地域にとっての大きなお祭りなので地区委員としても力が入るイベントです。幼児から小学生の子どもたちの参加が多いので、ポイントは難しくなく短時間でできる工作、今年はひっくりカエルとぶんぶんごまでした。毎回地区部会で準備をする事も大変ではありますが楽しみでもあります。

当日は地域の中学生がボランティアとして参加しているので、受付や工作を教える仕事をお願いしています。一生懸命に取り組む姿が毎年初々しく感じます。ここで体験することが、のちに彼らの経験値となるよう願っています。青少年委員は、全体の動きを見ながら、常に行動を起こし、反省を生かして前向きに活動ができる視点を持ちたいと考えます。







文責
鹿骨地区部会
笠井　雅世

研究グループが立ち上がりました！

青少年委員会では、地区部会の枠を越えて研究グループ活動を実施しています。委員が今期の青少年育成の課題を考え、必要な研究グループ活動をプレゼンテーションして研究グループを結成します。

委員は必ずどこかのグループに所属して、そのグループの目的を理解し研究し実践活動を通じて目標達成を目指します。

そして、研究グループは活動を通じて地域の健全育成活動に協力するとともに、活動を毎月議事録として青少年委員会に報告し、期末にはその成果を発表して委員の資質向上に活かしています。ここでは、今期立ち上がった6つの研究グループを紹介します。

おもしろ工作研究グループ

私たち「おもしろ工作研究グループ」は、各種イベントを通じて子どもたちに「手作りの楽しさと大切さ」を伝えることを目的に、今期は16名で活動しています。月に1回の会合では、各自が考案した作品を持ち寄って試作を行い、改良点を討議しながら完成度を高めています。その活動の成果として、最終的には「もの作りマニュアル」を作成・まとめる取り組みを行っています。



中学生の地域参加研究グループ

私たち「中学生の地域参加研究グループ」は、中学生に①地域への参加意識を育て②仲間と協働して活動を進める力を養い③地域や異世代との交流を通して視野を広げることを目的に、中学生が企画・準備・運営するイベント「学びのかるがもひろば」を中学生実行委員とともに開催しています。





未来を担う人づくり研究グループ

「未来を担う人づくり研究グループ」は、子どもの安心・安全な放課後づくりを目指し、PTA・子ども会・すくすくスクール・なごみの家・共育プラザと連携し活動しています。今期は防災クイズを切り口に、なごみの家訪問や各校イベント支援、他マンカラ大会の構想などを進め、地域を巻き込んだ居場所づくりに取り組んで参ります。





地域交流研究グループ

他地域の青少年委員との交流を積極的に行い、その地域特有の活動が我々にどのように活用できるかを研究の目的としています。子どもたちが『ASObo』をテーマに「手づくり工作」「レクリエーション」などで遊びながら様々な経験を通して、楽しみながら育成につながる活動を行っています。現在、新島村・墨田区・荒川区・目黒区・渋谷区・青梅市との交流を深めています。



子どもの文化体験研究グループ

子どもたちに地域の誇れる伝統文化や自然、産業などに触れる機会をつくり、郷土愛を育み、人間性、社会性を高める場となる「わが町たんけん隊」を企画・運営しています。

10期目となる今期は下町情緒あふれる活気ある商店街、歴史ある神社仏閣や再開発による近代的な進化が共存する街、小岩エリアでの開催を予定しています。



地域青少年リーダー育成研究グループ

江戸川区が主催する「地域青少年リーダー講習会」の修了生が、地域で継続的に活動できる受け皿づくりを、区役所や運営事業者などと連携しながら進めています。修了生が地域の担い手として活動・成長できる環境を整え、地域の防災力・行事運営力・世代間交流の強化につながる、持続可能な人材育成体制の構築を目指します。

